

地方創生拠点整備交付金効果検証について

(事業実施年度:平成29年度、効果検証年度:令和2年度)

対象事業名	総合戦略のKPI (重要業績評価指標)	事業概要	事業費 (単位:円)	交付金 充当額 (単位:円)	成果指標			【1】効果検証(4段階評価) ①地方創生に非常に効果があった。 ②地方創生に相当程度効果があった。 ③地方創生に効果があった。 ④地方創生に効果がなかった。	【2】外部有識者による評価(2段階評価) ①総合戦略のKPI達成に有効であった。 ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない。	【3】今後の方針(5段階) ①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続 ④事業の中止 ⑤予定通り事業終了
					指標	目標値	実績値			
東松山ぼたん園 オールシーズン 化リノベーション 事業	【基本目標・数値目標】 人口:令和2年 90,300人 年間観光入込客: 令和2年 260万人 市内事業所数: 令和2年3,514事業所 市内従業者数: 令和2年 36,550人 転入者数: 19,800人 (平成27年度～令和 2年度合計)	東松山ぼたん園において、ぼ たんの開花時期の収益確保 と開花時期以外にも多くの集 客が見込める施設へ再生さ せるため、マーケットデッキや テラス、展望台、園路の整備 を行い、施設のリノベーション を図る。集客力の向上による 収益の確保に加え、産業分 野との連携強化や、地域住 民の活躍の場を創出すること で、地方創生の方向性である 観光・産業・子育ての取組を 一体的に進めるための拠点 として整備する。	101,038,320	21,154,398	年間の来園 者数(人)	(H29) 20,000 (H30) 36,000 (R1) 50,000 (R2) 50,000	(H29) 59,074 (H30) 67,135 (R1) 74,830	③地方創生に効果があった。 ○整備内容 交付金対象経費としてマーケットデッキ、 テラス、展望台、管理施設の整備を行っ た。 平成30年3月工事完了 交付金充当額(21,154,398円) 平成30年4月にはリニューアルオー プン後のぼたんの開花時期を迎え、整備し たデッキを利用して出店などに取り組ん だが、天候に恵まれず、開花期間中の 入園料金は減少した。一方で子ども連れ で楽しめる公園として認知されるよう なり、年間の来園者数は67,135人とな った。 施設整備後も、ぼたんの質を高める土 壌改良工事を継続して実施している。平 成31年4月から指定管理者制度に移行 し「東松山ぼたん園パートナーズ」が運 営している。 年間を通してイベントを開催したこと により、令和元年度の来園者数は74,830人 と目標を大きく上回った。	①総合戦略のKPI達成に有効であった。	③事業の継続
					有料期間中 の入園料金 収入(千円)	(H29) 6,500 (H30) 8,000 (R1) 9,500 (R2) 10,000	(H29) 8,629 (H30) 5,336 (R1) 5,845			
東松山市化石と 自然の体験館観 光交流拠点事業	【基本目標・数値目標】 人口:令和2年 90,300人 年間観光入込客: 令和2年 260万人 市内事業所数: 令和2年3,514事業所 市内従業者数: 令和2年 36,550人 転入者数: 19,800人 (平成27年度～令和 2年度合計)	化石と自然の体験館を増築 し、市南部の観光拠点化を図 る。新たに観光情報提供や観 光客が気軽に立ち寄り休憩 できるスペースを設け、施設 の機能を複合化することによ り、新たな誘客に加え、観光 客を周辺施設に誘導する流 れを生み出し、地域全体の観 光を牽引していく。施設整備 にあわせた効果促進としてオ リジナル商品の開発を行い、 施設の稼ぐ力を向上させる。	23,058,000	10,737,900	年間観光入 込客数(万 人)	(H29) 235 (H30) 240 (R1) 245 (R2) 250	(H29) 268 (H30) 265 (R1) 255 (R2)	①地方創生に非常に効果があった。 ○整備内容 【施設整備】 観光拠点化するため既存施設の改修及 び増築を行い、展示スペース、事務・ バックヤード、収蔵スペース、屋外多 目的スペースを整備した。 平成30年1月工事完了 交付金充当額(10,530,000円) 【効果促進】 オリジナル商品開発を委託し、11品目 の商品を開発した。 交付金充当額(207,900円) 平成30年4月にリニューアルオー プンを迎え、観光情報の発信やオリジナル 商品の販売を開始したことにより、施設 の魅力が一層向上し、平成30年度の体験 館利用者数は21,122人となった。発掘体 験者も順調に増加していることから、体 験料収入も目標を大きく上回る結果と なった。 平成31年2月には体験者数が累計3万 人に到達。来館者の大半は市外からの 来館であり、市の新しい観光スポットと なっている。 東日本台風や新型コロナウイルス感染 症感染拡大防止のため休館した期間が あったものの令和元年度は利用者数、 収入ともに目標値を上回った。	①総合戦略のKPI達成に有効であった。	③事業の継続
					化石と自然 の体験館利 用者数(人)	(H29) 16,500 (H30) 18,000 (R1) 19,000 (R2) 20,000	(H29) 16,600 (H30) 21,122 (R1) 19,186 (R2)			